

山陰道（須^す子^こ～萩^{はぎ}）
優先区間の絞り込みについて
第2回 説明資料

平成26年6月2日

国土交通省 中国地方整備局

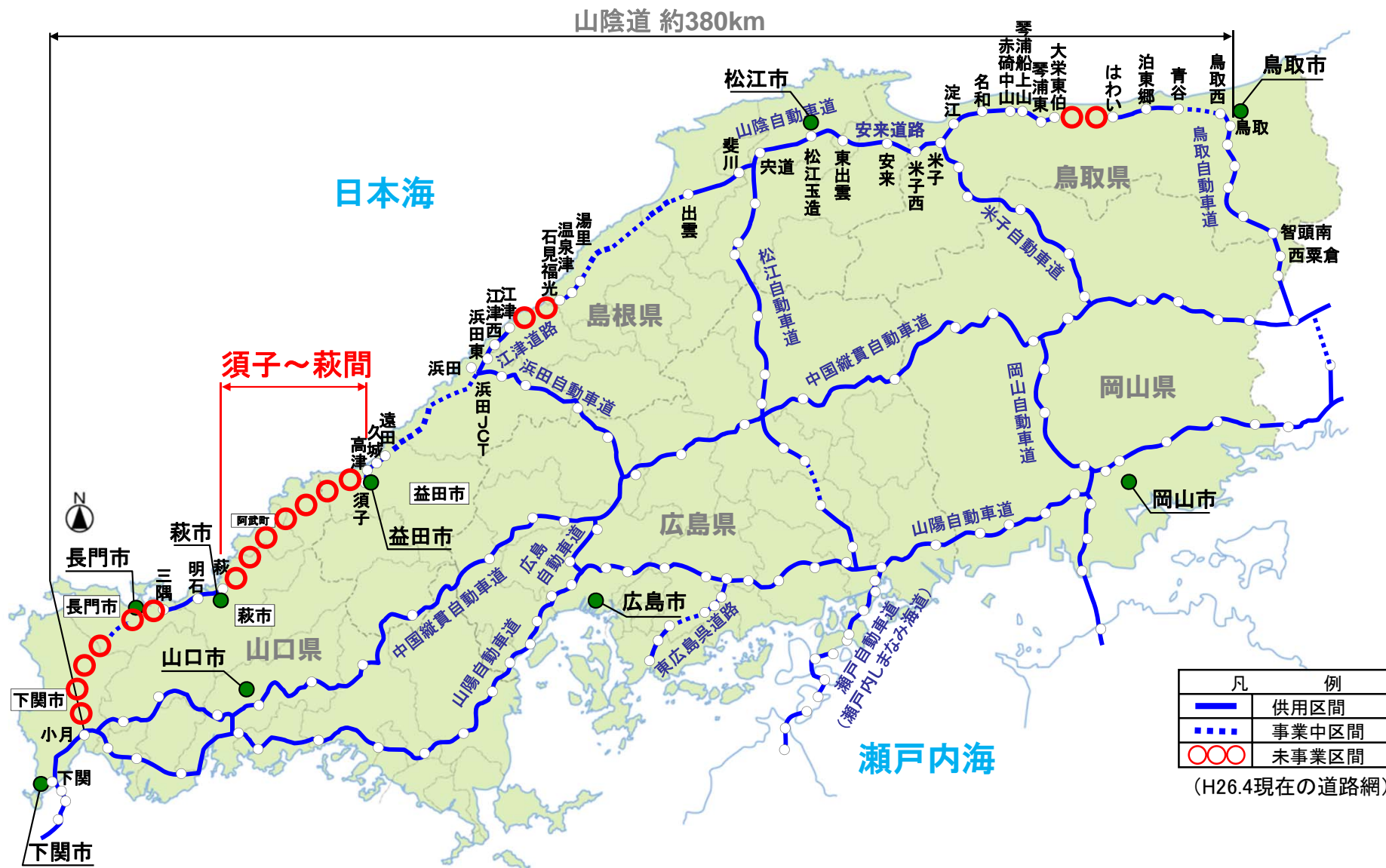
1. 優先区間の絞り込み検討の流れ
2. 優先区間の絞り込み方針
3. 地域の意見聴取の進め方
4. 今後の進め方(予定)

1. 優先区間の絞り込み検討の流れ

1-1. 中国地方の高規格幹線道路網

- 当該区間は、日本海国土軸の一部を担う山陰道の一部。
- 島根県益田市から山口県萩市に位置し、北側の日本海と南側の山地に挟まれた自然豊かな地域である。

【広域図】

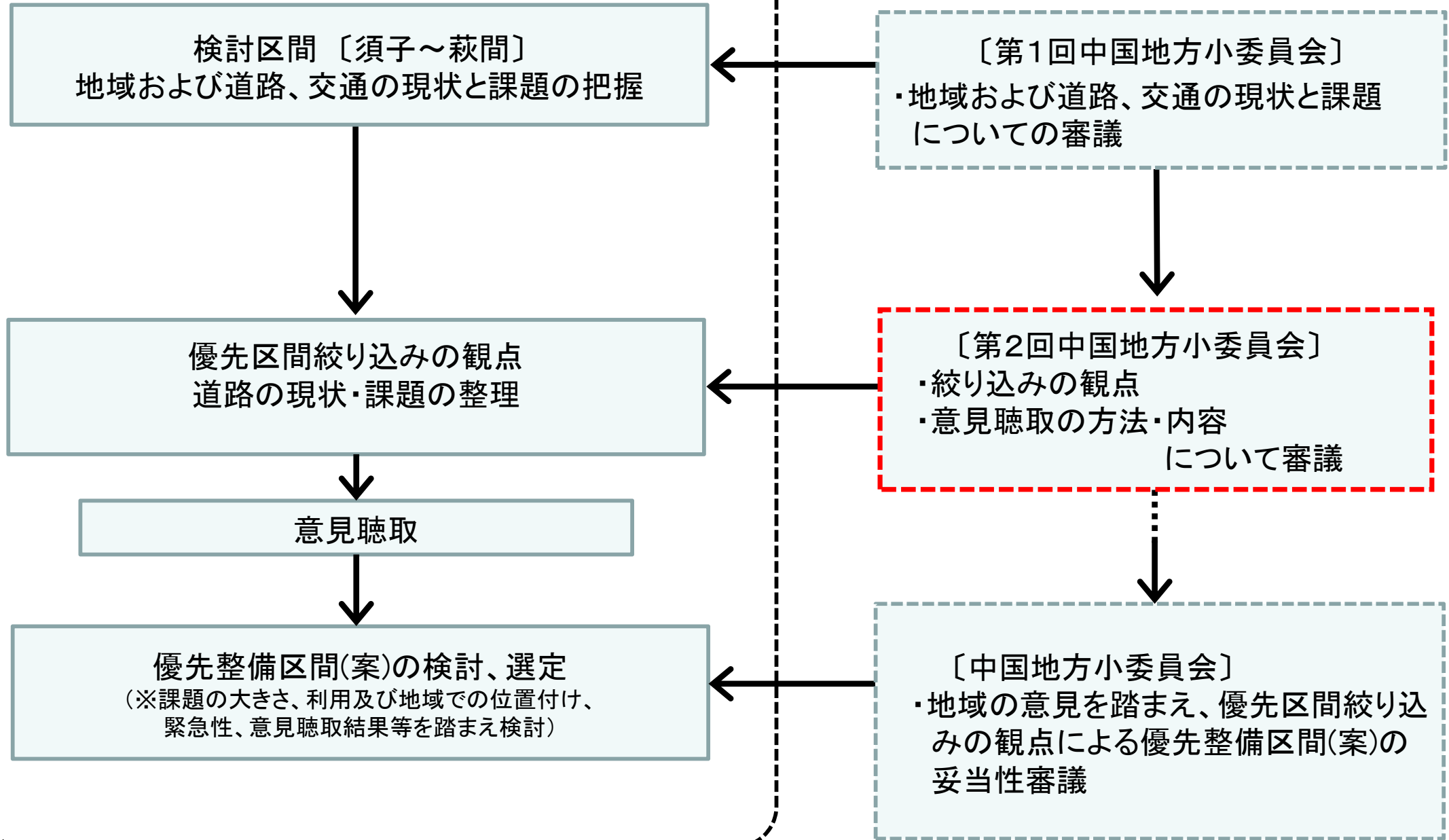


1-2. 優先区間の絞り込み手続きについて

- 「優先区間の絞り込み」手続きは、道路の課題等を把握した上で、特に課題が大きく緊急性が高い区間について、整備を優先的に取り組む区間として決定する手続き。
- 特に、延長が長い路線においては、整備による早期の効果発現のためには、優先的に取り組む区間を設定して整備を進めることが有効。

1-3. 優先区間の絞り込み検討の流れ

優先整備区間(案)作成までの流れ



2. 優先区間の絞り込み方針

2-1. 優先区間の絞り込みの観点

〈視点①：課題の大きさ〉

〔地域、道路の課題〕

- ・事前通行規制や越波区間など防災上の脆弱性
 - ・事故や災害による頻繁な通行止め
 - ・急カーブ、急勾配など道路構造の問題
 - ・市街地部の速度低下
- など



〔課題を評価する指標イメージ＝課題別評価〕

- ・事前通行規制区間、越波区間、防災点検要対策箇所、浸水想定箇所
 - ・通行止め箇所と件数（事故、災害）
 - ・線形不良箇所、事故率
 - ・旅行速度データ
- など

〈視点②：利用及び地域での位置づけ〉

〔利用〕

- 日常生活
 - ・通勤通学、買物
 - 経済活動
 - ・沿線企業或いはその他企業の広域物流
 - ・当該地域に関連する広域観光
 - 緊急活動
 - ・消防、救急救命活動
- など

〔地域での位置づけ〕

- 地域の将来計画（将来像）
- など

〈視点③：緊急性〉

〔意見聴取〕

地域で緊急性が高く、対応が求められている課題を抽出

地域の情勢及び効果の早期発現を考慮

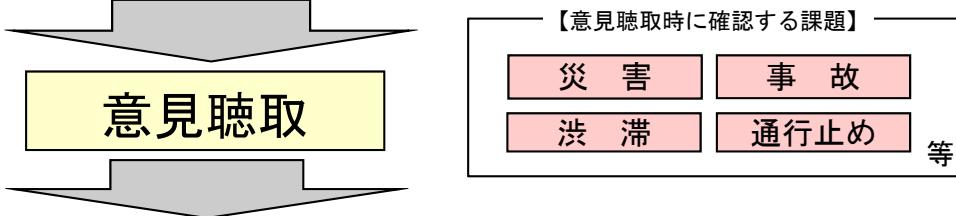
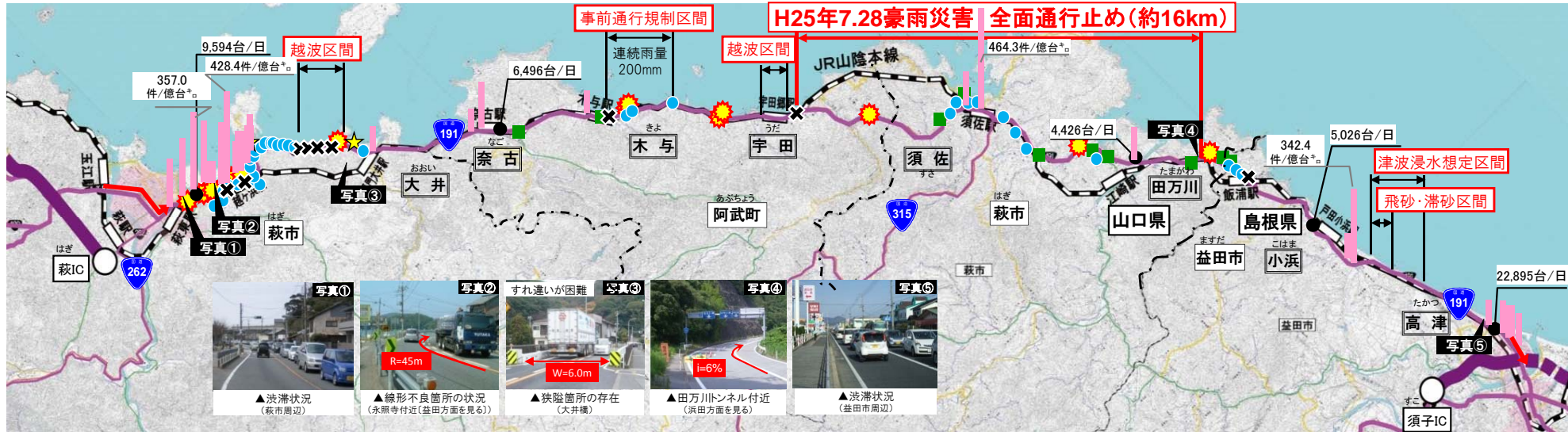
優先整備区間の絞り込み

2-2. 須子～萩間の課題

【防災上の課題】



【交通・構造上の課題】



3. 地域の意見聴取の進め方

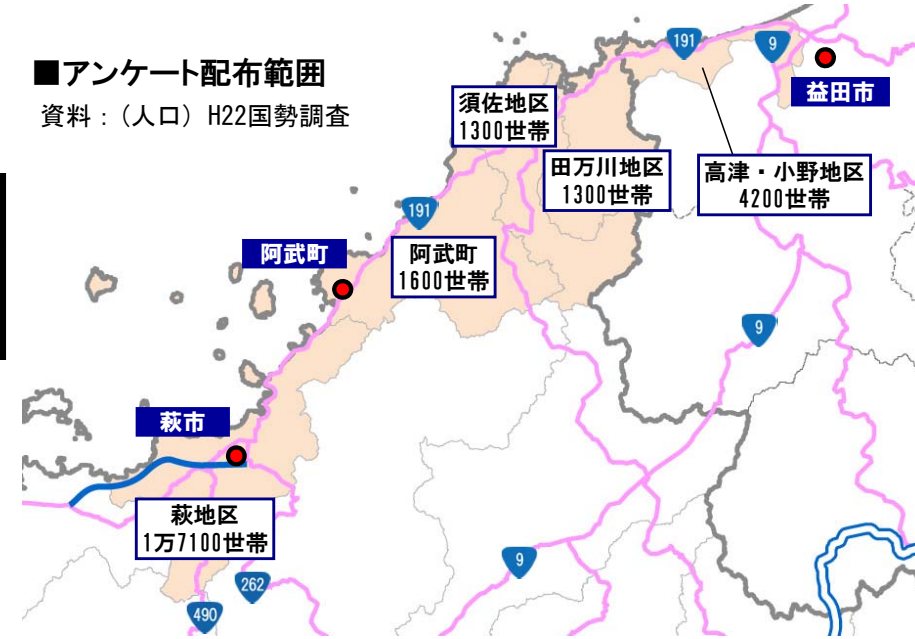
3. 地域の意見聴取の進め方

1. 意見聴取の基本方針

地域及び道路・交通の課題に対する**意見を伺う**。

意見聴取の項目	把握する意見
地域及び道路・交通の課題	<ul style="list-style-type: none"> 提示した道路・交通の課題が妥当かどうか 優先的に解消すべき道路・交通の課題は何か

■アンケート配布範囲
資料：(人口) H22国勢調査



2. 意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法		
ヒアリング	【関係自治体及び団体】 関係県市町・団体へ意見照会	
	自治体：島根県、山口県、益田市、萩市、阿武町 各団体：トラック協会（鳥取県、島根県、山口県、福岡県）、商工会議所（2市1町）、警察署、消防署、農協、漁協、学校 大規模店舗、観光協会（鳥取県、島根県、山口県、福岡県）、バス会社、JR西日本	
アンケート	【地域住民】 沿線地域の住民へ郵送配布（※全戸配布）	約25,500部
	益田市（高津地区、小野地区）	約4,200部
	萩市（萩地区(旧萩市)、田万川地区、須佐地区）	約19,700部
	阿武町	約1,600部
	【企業及び団体】 沿線地域の事業所等へ郵送配布	約3,700部
	沿線地域の企業・事業所	約3,500部
トラック協会加盟企業（鳥取県、島根県、山口県、福岡県）	約200部	
【道路利用者等】 山口県・島根県内の道の駅及び観光施設などに常設、WEB	約4,500部	

3. 地域の意見聴取の進め方

3. ヒアリングの調査項目と活用方針

ヒアリングの質問項目	ヒアリング結果の活用
地域及び道路・交通の課題について	<ul style="list-style-type: none">・ 地域及び道路・交通の課題とされる内容とその諸活動への影響、整備を優先すべき区間とその抽出理由について意見聴取を行い、行政又は業界と地域住民等の認識の整合性の確認をする。

4. アンケートの調査項目と活用方針

アンケートの質問項目	アンケート結果の活用
回答者属性	<ul style="list-style-type: none">・ アンケート回答者の個人属性、対象路線の利用状況を確認し、被験者の妥当性を確認する。
地域及び道路・交通の課題について	<ul style="list-style-type: none">・ 道路・交通課題のうち、解消重要度が高い課題を確認し、整備優先区間の抽出検討に反映する。・ 想定した道路・交通課題以外に被験者が考える課題について把握する。
その他自由意見	<ul style="list-style-type: none">・ その他、地域の道路に関する意見を幅広く聴取し、道路計画に反映する。

3. 地域の意見聴取の進め方

5. アンケート案

■アンケートにおける調査方法および質問内容

① 調査概要

➡ 本調査の趣旨・今後の進め方・調査対象箇所の提示

地域住民用

山陰道(須子～萩)の 道路計画に関する アンケート調査

案

本調査は、山陰道(須子～萩間)の道路計画についてより皆様の生活に役立つ道路とするため、周辺地域の皆さまにご意見を伺うアンケートです。

このアンケートは、地域の皆さまに道路交通面での課題や地域に求められる道路の役割等について、ご意見をお聞きし、優先区間の絞り込みの検討(※優先区間の絞り込みとは、地域の交通状況や道路網の課題等を踏まえ、現在利用されている道路の課題が大きく緊急性の高い区間を優先的に整備に取り組み区間として絞り込むことです。)に役立てるものです。アンケート調査にご協力いただけますようお願いいたします。

今回の調査対象者は、益田市、萩市、阿武町の方から、約●名を抽出しアンケートを発送し、記入をお願いするものです。送付いただいた葉書については、データ集計を山口河川国道事務所で行うこととしております。

■ 山陰道は、総延長380kmの高規格幹線道路です。

- 山陰道は、鳥取県鳥取市から島根県を経由し山口県下関市に至る高規格幹線道路です。
- 現在、山口県内では萩ICから三隅IC間が開通しており、(仮)長門ICから(仮)小原IC間の整備を国土交通省が進めています。

【拡大図】



■ 本アンケートの対象となるのは、須子～萩間です。

➢ このアンケートは、「須子(島根県益田市)～萩(山口県萩市)」についてご意見を伺うものです。

② 国道191号(須子～萩)の現状

➡ 対象路線の沿線地域における地域・道路の状況の提示

周辺地域と道路の現状

【道路ネットワーク交通状況】

- 当該区間は、高規格幹線道路ネットワークにおいて、現在事業がなされていない区間です。
- 国道191号(須子～萩間)の交通量は約4,400～22,900台/日(大型車最大2,100台/日)です。

【道路の構造】

- 国道191号の須子～萩間には急な坂が11箇所、急なカーブが36箇所あります。

【災害危険箇所の状況】

- 国道191号(須子～萩間)には、要防災対策箇所、土砂災害の危険箇所が多くあります。
- 平成25年7月の豪雨では、国道9号、国道191号の幹線道路が浸水被害や土砂災害により全面通行止めとなり、山陰側における東西方向の移動が不可能となりました。

【通行止めの状況】

- 当該区間は、災害、事故による通行止めが5年間(H21～H25)で16回発生しています。
- 国道191号で通行止めになると、大きな迂回が必要となります。

3. 地域の意見聴取の進め方

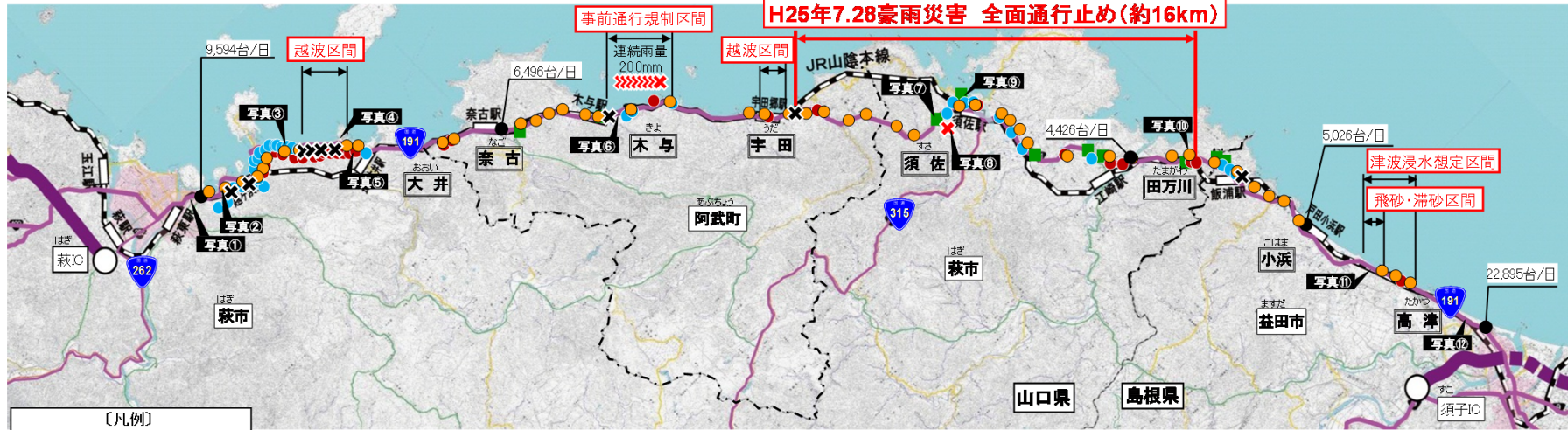
5. アンケート案

■アンケートにおける調査方法および質問内容

② 国道191号(須子～萩)の現状

対象路線の沿線地域における地域・道路の状況の提示

周辺地域と道路の現状【現状説明図】

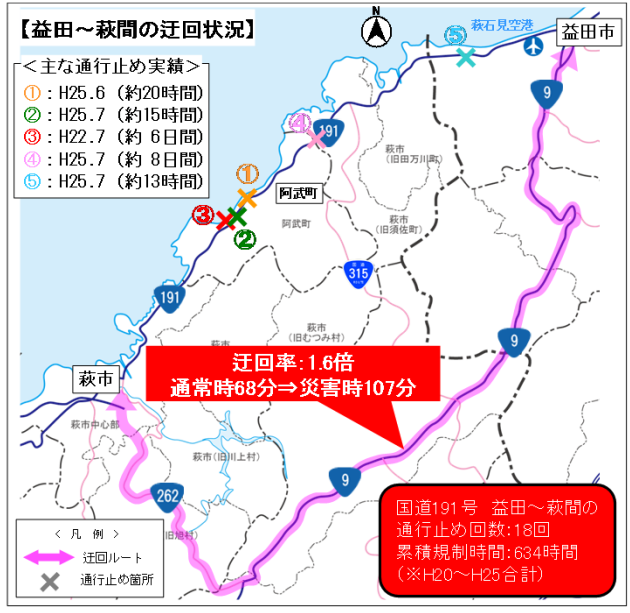


- 【凡例】
- 防災点検要対策箇所
 - 土砂災害危険箇所
 - × 災害による通行止め発生箇所
 - × 事故による通行止め発生箇所
 - 平面線形不良箇所 (半径150m未満の曲線区間)
 - 縦断線形不良区間 (縦断勾配5%超区間)

▼国道191号の事故・災害通行止め

年度	概要	発生件数	規制時間
H21	事故、事前規制	2件	47時間55分
H22	災害	1件	152時間30分
H23	事前規制、事故	7件	188時間29分
H24	事前規制	1件	8時間45分
H25	事前規制、災害、事故	5件 (17箇所)	234時間29分
合計		16件	632時間8分

※()内はH25.7災害による被災箇所



3. 地域の意見聴取の進め方

5. アンケート案

■アンケートにおける調査方法および質問内容

③ 質問事項

➡ 道路・交通課題の解消重要度

◇ 益田市から萩市間の道路(国道191号等)に関する現在の問題点や解消すべき課題について

〈質問1〉 ①～⑥について、あなたの住む地域が抱える道路・交通の問題点や解消すべき課題があれば、最大2つまで選んで下さい。(※「該当するものがない場合」は、「⑦特になし」を回答下さい。)

【道路・交通の課題】

- ① 速度が遅いなどの交通混雑の問題（低速車両による走行阻害含む）
- ② 災害に対して弱い（災害時に通行できるかどうか不安）
- ③ 通行止めの際、迂回路がなく不安（迂回路が長い）
- ④ カーブや急な坂があるため走りにくく危険
- ⑤ 交通事故が多く危険
- ⑥ トラックなどの地域を通過する大型交通が多く危険
- ⑦ 特になし

〈質問2〉 質問1に示した道路・交通課題以外で、あなたがお感じになる課題があれば、ご自由にお書き下さい。

◇ その他

〈質問3〉 その他、地域の道路についてあなたのお考え、ご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。

3. 地域の意見聴取の進め方

5. アンケート案

■アンケートにおける調査方法および質問内容

④ アンケート返信用はがき

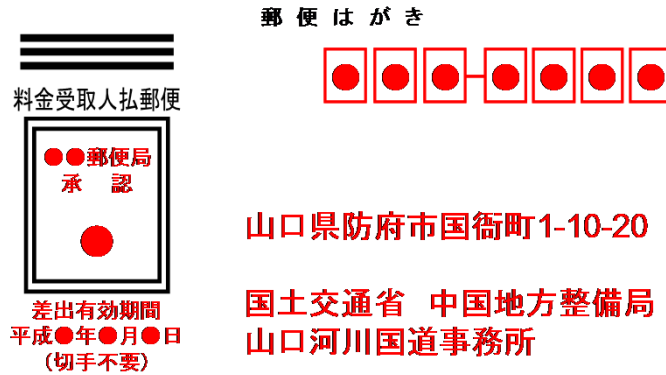
■回答方法

- 回答は、右記の返信用はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。

■締め切り

- 平成●年●月●日までに投函願います。

(表面)



計画課 行

(裏面)

〈質問1〉
①～⑥について、あなたの住む地域が抱える道路・交通の問題点を解消すべき課題があれば、最大2つまで選んで下さい。
【該当する箇所に○をつけてください(2つ選択)】

道路・交通の課題	回答欄
① 速度が遅いなどの交通混雑の問題(低速車両による走行阻害含む)	
② 災害に対して弱い(災害時に通行できるかどうか不安)	
③ 通行止めの際、迂回路がなく不安(迂回路が長い)	
④ カーブや急な坂があるため走りにくく危険	
⑤ 交通事故が多く危険	
⑥ トラックなどの地域を通過する大型交通が多く危険	
⑦ 特になし	

〈質問2〉
質問1に示した道路・交通課題以外で、あなたがお感じになる課題があれば、ご自由にお書き下さい。 【自由回答】

〈質問3〉
その他、地域の道路についてあなたのお考え、ご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。 【自由回答】

◆あなた自身のことについて【記入または該当する番号に○をつけてください】

住所 〒 - 県 市・郡 町

性別 ① 男性 ② 女性 年齢 歳代

◆検討対象路線の利用状況について【該当する番号に○をつけてください】

Q. 現在の検討対象路線の利用頻度を教えてください。
① ほぼ毎日 ② 週2～3回程度 ③ 月2～3回程度
→①②③を選ばれた方は〈下段〉の質問へ

④ ほとんど利用しない ⑤ 利用したことがない
→④⑤を選ばれた方は〈裏面〉の質問へ

Q. 検討対象路線の主な利用目的を教えてください。
① 通勤 ② 通学 ③ 家事・買い物
④ 仕事 ⑤ 観光・レジャー ⑥ その他()

Q. 目的地を教えてください。
① 益田市 ② 阿武町 ③ 萩市 ④ 長門市
⑤ その他() **〈裏面〉の質問へ→**

※)本アンケートでお答えいただいた意見および個人情報、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません

4. 今後の進め方（予定）

4. 今後の進め方（予定）

第1回 中国地方小委員会

- 手続きの進め方
- 地域、道路、交通状況と課題 等

第2回 中国地方小委員会

- 優先区間の絞り込みの観点
- 地域の意見聴取の手法、内容 等

地域の意見聴取

- ・沿線地域や企業等へのヒアリング、アンケート 等

中国地方小委員会

- 優先整備区間(案)の検討・選定 等

優先整備区間の選定

【参考資料】
地域の将来像

【参考】地域の将来像

〔道路整備の方針：島根県・山口県〕

○島根県,山口県では広域的な交流連携強化を目指した道路整備が進められている。

【しまねの新たな道づくりビジョン】

3つのテーマ

平成15年1月策定、平成21年8月改定

1.「広(ひろがり)」
自立と活力 交流島根県

目標1: 高速道路の整備による広域交流の推進
指標1-2: 出荷エリアの拡大

目標3: 広域観光ルートの形成
指標3-1: 観光エリアの拡大

2.「交(まじわり)」
ゆとりとやすらぎ 快適しまね

3.「思(おもいやり)」
安全・安心 やさしいしまね

目標1: 事故・災害への対応強化
指標1-1: 国道9号の代替路の確保
指標1-2: 緊急輸送道路の確保

今後の道づくりの5つの考え方・進め方

①高速道路の整備を最重点に推進します。
・県内外の広域的な交流を支える高速道路の整備を、県政の最重要課題と位置付け、その整備促進に向けて行政、民間団体、県民が力を合わせて取り組んでいきます。

②必要最小限の道路ネットワークの早期完成を目指します。

③新たな発想や創意工夫により効率的な道路整備を行います。

④まちづくりを支援する道路整備を、関係機関や各種事業との連携により進めます。

⑤県民にわかりやすい道路施策を行います。

【ジョイロードプラン(山口県の新しい道路整備計画)】

4つの方針

11の方策

平成16年3月策定

1. 県民参加のみちづくり

①県民の意見をみちづくりに積極的に取り入れます。

2. 広域交流を進めるみちづくり

②空港、新幹線、港湾など広域交流拠点へのアクセス性を高めます。
・県内はもとより、国内や海外との交流を促進するため、高速道路や地域高規格道路等を整備し、広域交流拠点へのアクセス性を高めます。

③広域的な交流連携を強化します。
・県境を越え、地域の特性を生かした広域的な機能分担の下で多様な交流・連携活動が活発となるよう、隣接する福岡市や広島市等の大都市と余裕を持った交流が可能な2時間圏を拡大します。

3. 地域の自活を支えるみちづくり

④地域連携を強化します。

⑤総合的な渋滞対策を進めます。

⑥個性ある地域づくりを支援します。

⑦防災対策を進めます。
・防災対策を進め、災害に強い道路、緊急輸送路の確保を図ります。

4. 人と自然を大切にするみちづくり

⑧バリアフリー化を進めます。

⑨交通安全対策を進めます。

⑩道路案内、交通情報案内を充実します。

⑪沿道環境や歴史、景観に配慮します。

評価指標

空港1時間圏域人口カバー率、新幹線駅30分圏域人口カバー率

中枢都市2時間圏人口カバー率、高速IC30分圏人口カバー率

○山陰道(須子～萩)の沿線市では広域的な交流連携強化を目指した道路整備が進められている。

【益田市の将来像】

将来都市構造／ 2.地域連携軸の位置づけ

(1) 周辺都市間を結ぶ「広域連携軸」

- ・周辺都市との広域連携に寄与する基軸として南北に走る国道9号、東西に走る国道191号と国道488号、広域幹線道路である益田道路、三隅・益田道路(山陰道)を広域連携軸と位置づけます。
- ・これらの道路により、周辺都市との広域連携の実現に加え、交流人口の拡大を目指し、浜田市、津和野町などの県内隣接市町との連携を図るとともに、県境に位置する特性を活かして山口県や広島県等、他県との都市間連携ネットワークの形成を図ります。

(2) 都市内の都市拠点・地域拠点間を結ぶ「都市内連携軸」

(3) 地域内の地域拠点・生活拠点を結ぶ「地域内交流軸」

(資料: 益田市都市計画マスタープラン__H24.3)

【萩市の将来像】

交通体系の基本方針／ (1) 道路

■ 高規格幹線道路及び地域高規格道路の整備

- ・小郡萩道路の早期全線整備や山陰自動車道の早期建設を促進し、広域的な道路の整備により、萩・石見空港、山口宇部空港からの受け入れ時間の短縮化を図るとともに、物資の流通や人の交流の活性化を促す交流ネットワークの形成を図ります。

■ 広域的幹線道路の整備

■ 市内幹線道路の整備

(資料: 萩市都市計画マスタープラン__H23.3)